

令和元年度第1回山梨県森林総合研究所「森の教室」運営委員会会議結果のお知らせ

委員会の名称	令和元年度第1回山梨県森林総合研究所「森の教室」運営委員会
日 時	令和元年6月5日（水）15:00～
場 所	山梨県森林総合研究所 大研修室
出席者	<p>(委員) 大澤 正嗣、望月 隆、小田切 英史 (事務局) (公財)やまなし文化学習協会：事務局長、「森の教室」管理責任者 森林総合研究所：所長、次長、研究員(5)、技能員(1)、 林業普及指導員(1) 森林環境総務課：企画担当(1)</p>
審 議	<p>1. 事務局からの説明</p> <p>(1) 平成30年度事業実施状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 森の教室行事实績 2) 森の教室利用状況 3) 出前講座等の実績 <p>(2) 平成30年度第2回運営委員会でのご意見と取り組み</p> <p>(3) 令和元年度事業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 森の教室主催事業予定 2) 展示室等の写真展・特別展示予定 3) 山梨県産のヒノキで作る電動糸ノコ工作予定 4) 期間限定工作予定 5) 出前講座等の予定 <p>(4) その他</p> <p>2. 委員からの意見・審議</p> <p>○一般参加者に加えて、新たに団体参加者にもアンケートを行うと良い。</p> <p>○東部・富士北麓地域の参加者が少ないので、この地域の広報を強化する必要がある。</p> <p>○森の教室だよりのDMを図書館、児童館だけでなく、学校にも郵送した方が良い。また、市町村への広報も効果があるので、全市町村に広報してほしい。</p> <p>○森の教室だよりについては、例えば小・中学校に配ろうとした場合、郵送する他に教育委員会のBOXに入れるという方法もある。そうしたことが可能かどうか確認する必要がある。</p> <p>○学校には掲示板もあるので、子供たちが興味を持つような大きな紙や絵柄を工夫して森の教室だよりを作成すれば、宣伝になる。県の施設を利用したイベントの宣伝に学校の掲示板を利用することは全然問題ないと思う。</p> <p>○夏休み以外の期間でも募集を上回る参加人数があるイベントも</p>

	<p>あり、中身が大事だと感じた。逆に初夏の自然遊びとネイチャーゲームの参加人数が少ないのは、具体的にどんなことをするのか、タイトルから分かりにくいためではないか。また、火起しの体験については、小学生は考古博物館の縄文土器の勉強などで火を起こす体験をしているので、参加者が集まらなかったと感じた。参加人数の多い森の昆虫教室などは、子供が喜ぶと思うので、こうしたものをアイデア豊かにやってもらいたい。広報に力を入れてほしい。</p> <p>○4月の利用者を増やすのは難しいが、森の教室が良い所だと思うような四季を感じられる施設であれば、通年人が来ると思う。</p> <p>○甲府市の広報誌”かわせみ”は多くの市民が閲覧する。そこに「森の教室」のイベント情報を掲載できれば、甲府市の利用者が少ないことを改善できると思う。他の市町村にも問い合わせしてほしい。</p> <p>○昨年度の「枝打ち体験」には33人も参加している。これだけ多くの参加があったのは、タイトルにバウムクーヘンと付いているからではないか。こうした興味を引くような物があれば、本来の目的から少しずれるが、参加者が増えると思う。</p> <p>○展示内容はここ最近代わり映えしないので、新しいテーマを検討する必要がある。</p> <p>○大学にはボランティア単位というものがある。以前、武田の森でトレイルランのイベントを開催した時に、県内の大学にボランティアの募集をして証明書を出したら大学生が来てくれた。ボランティア募集のチラシを大学にも出してみてもどうか。</p>
お問い合わせ先	<p>森林総合研究所「森の教室」運営委員会 事務局 本多 電話番号：0556-22-8001； ファックス番号：0556-22-8002</p>